

中川地区の 地域づくり

中川大好き連合会



中川大好き連合会設立総会(令和5年8月6日)

中川地区の概況

R5.10.31現在

○人口
2,068人

○世帯数
978世帯

○小学校児童数
82人(R5.5.1現在)

○老年人口比率
45.8%

○単位自治会数
7自治会



中川地区の地域づくり(目次)

1. 地域づくりのきっかけ
2. 地域づくりの取り組み
3. 中川大好き連合会(地域自治組織)
4. 地域づくりで実現できたこと
5. これからの地域づくり

1.地域づくりのきっかけ

令和3年3月に地域づくりの説明を受け、
話し合ってみたところ…



地域の高齢化、少子化の
スピードが早い

中川の団体のことを
知っていそうで知らない

団体役員の固定化、
後継者不足

災害の時に連携が
できるのか…

などなど…

1.地域づくりのきっかけ

地域の課題や守っていききたいものを共有するための場が必要



自治会をはじめ、
各種団体の代表による
意見交換がスタート！



少しずつ参加団体を増やして、
話し合いの輪を広げていく

特に若手の意見を
聞いてみたい！

難しい顔じゃなくて
笑顔で話を聞くんぞ！
(とある自治会長さん)



中川地区自治会長とPTAとの意見交換会(R3.10)

2.地域づくりの取り組み

中川地区地域づくり座談会

西条市地域づくり政策担当参事の櫻井先生
(高崎経済大学教授)を講師に、
3回にわたり、中川の良いところや課題、
そしてこれからの中川について、
地域の人みなで話し合いました。



R4.5



R4.6



R4.8

2.地域づくりの取り組み

座談会では…

地域のいろんな話を聞いて面白い

若手と話すのは楽しい

いつもの顔ぶれでないのがいい

こういった話し合いを5年早くやっていたら違う中川だったかも

このような声が聞けました！

地域全体の意見を聞くことが大切



その後、座談会の開催は定番化！

2.地域づくりの取り組み

中学生の座談会への参加



小学生が考えた中川地域の未来予想図



小学校と中学校は地域と歩調を合わせて、
いろいろな取り組みを行って来ています。

2.地域づくりの取り組み

地域全体で話し合いを続けていくために…

令和4年9月 中川地域づくり検討会 設立

自治会(7)、婦人会、消防団、小学校、中学校、桜遊会、小学校PTA、
中学校PTA、中川さくら保育園、民生児童委員、社会福祉協議会

17団体で構成

- ・中川地区の現状や課題の把握
- ・どんな中川を目指すのか
- ・それらを実現するための仕組みや連携の方法の検討

3.中川大好き連合会(地域自治組織)

中川地域づくり検討会で地域自治組織の名前を考えていたところ…

これからの中川を担っていく子どもたちに会の名前を
考えてほしい！



小学校5、6年生と中学生に会の名前を募集したところ、
50を超える名前の応募がありました。
白熱した話し合いの結果、会の名前は…



中川大好き連合会

に決定！

令和5年8月6日(日)

中川大好き連合会

設立総会 開催

中川大好き連合会設立の経緯説明



設立趣旨説明・設立宣言



中川小学校児童の発表



丹原西中学校生徒会の発表



愛媛プロレスのパフォーマンス



パートナーシップ協定締結



バルーンリリース



4.地域づくりで実現できたこと

多くの意見を踏まえながら話し合い(会議や座談会)に臨むために、コアメンバーを幅広い世代や団体で構成！

コアメンバーの構成(地域づくり開始当時)

中川地区自治会長、小学校PTA会長、中学校PTA会長
自治会長、婦人会長



『中川地区全体の課題設定』

が大切！話し合いの内容が深まりやすい！！

4.地域づくりで実現できたこと

役員会、会議、座談会を議題や目的によって使い分け。
特に座談会の定期的な開催により世代や団体を越えた意見を聞くことが可能になりました！

種類	参加対象	人数 (目安)	主な話し合いの内容
役員会	・役員	5～ 6名	・会議等の議題(課題設定)の検討 ・会議や座談会の選定(使い分け)
会議	・各種団体長が中心	15～ 20名	・団体長の意見を聞く ・議決が必要な事項 ・話し合いの方法(口の字形式、 ワークショップ形式)は内容次第
座談会	・各種団体長と役員 ・各種団体の元役員 ・特に意見を聞いてみたい人	35～ 40名	・多くの住民の意見を聞く ・ワークショップ形式

4.地域づくりで実現できたこと

- 子どもたちの現状を地域に知ってもらうことができた
- 座談会の定期的な開催
自治会長たちとの世代を越えた議論があること
- 中川の将来を皆で考えるきっかけになり、
先を見据えた取り組みや話し合いができやすくなった
- コロナ禍後、夏祭りなどの行事の復活に向けての
流れがスムーズになった
- 地域と学校との連携が進み始めた

マチコミ

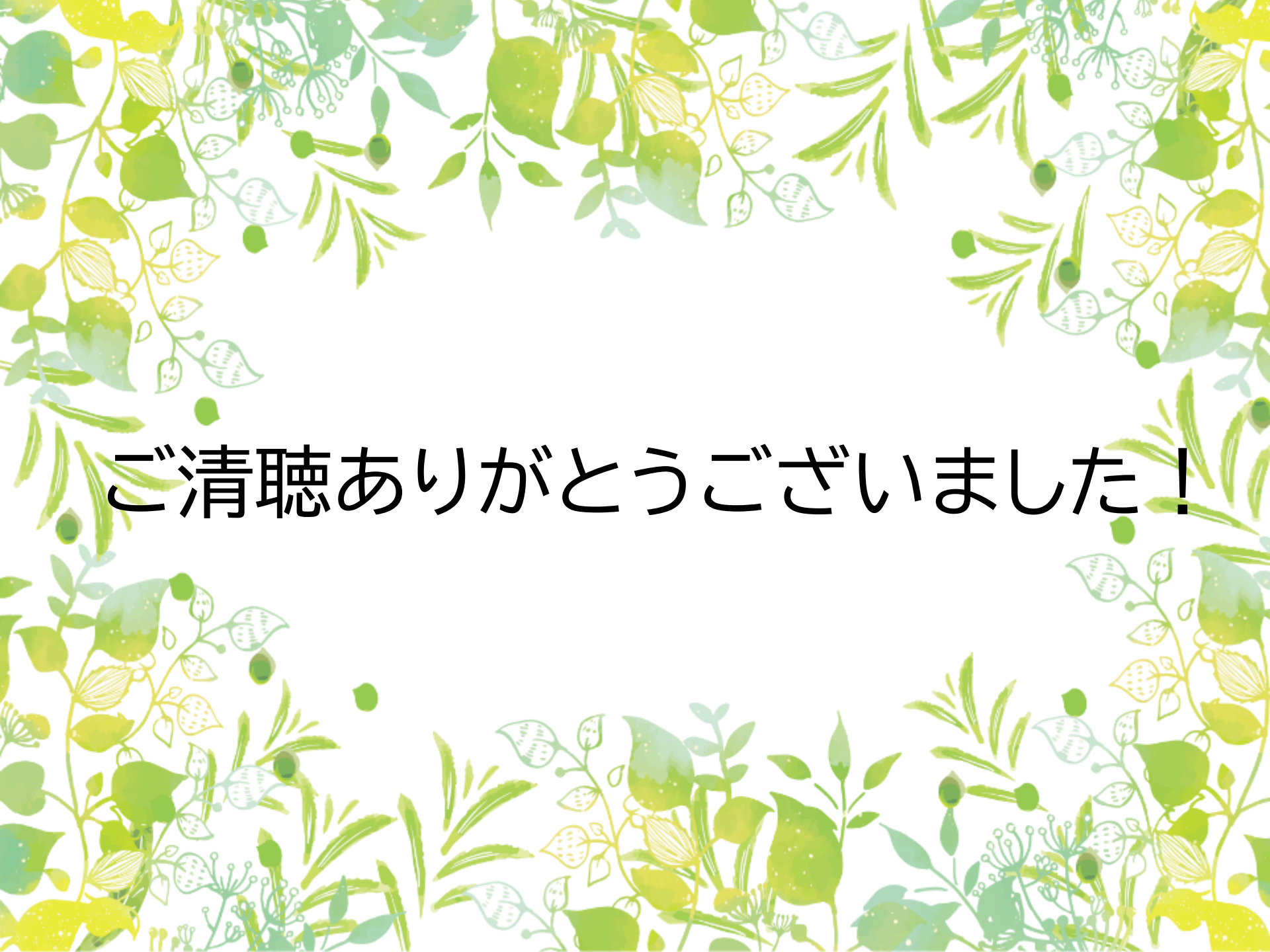
環境整備

学校行事

5.これからの地域づくり

- 団体役員以外の住民参加の方法の検討、話し合い
- 各種団体を地域で支えていく方法の検討、話し合い
- 小中学校とのコミュニケーションの促進





ご清聴ありがとうございました！